

一羊会だより

発行
 社会福祉法人一羊会
 事務局 〒663-8241
 西宮市津門大塚町1-47
 電話 (0798) 31-1760
 FAX (0798) 31-1763



今号の表紙を飾ってくれたのは、すずかけ作業所に所属する木下勝友さん。2022年10月28日にすずかけ作業所の屋上テラスで行われた『秋の焼き野菜大会』にて、焼き芋を食べた瞬間の表情です。この表情が全てを物語っていますね。他にも、エリンギのホイル焼き、焼きナス、ジャガバタ、アスパラベーコン等、事前にリクエストした野菜を皆さん堪能していました。このレクリエーションは、コロナ禍でなかなか外出の機会が持てない利用者の皆さんに、秋の味覚を味わってもらおうと企画されました。前日から仕込みにかかり、当日は朝から火を起し、夕方近くまで野菜を焼き続けた職員の皆さん、本当にお疲れ様でした。

特集

- すずかけ労働センター・大川裕紀さんエッセイ …… 3
- あとりえすずかけ新聞『富塚純光個展』…………… 4
- 助成金の御礼 ……………… 5
- 一羊会後援会の事業報告 ……………… 6・7



一羊会ホームページ
 へはこちらから

障害者権利条約批准後の初勧告 インパクトあり!!

理事長 三浦 昇

いつも一羊会の事業を見守り、応援いただきありがとうございます。

さて、2006年12月に国連総会で障害者権利条約が採択され、遅れて2014年1月に日本が批准するまで8年経過、その間2011年に「障害者基本法」の改正、2012年に「障害者総合支援法」、「障害者差別解消法」が成立。さらに2013年に「障害者雇用促進法」の改正等、条約批准に向けての法体系の整備が行われ、2014年1月に批准し現在に至っているなか、今年の8月に国連の障害者権利委員会（以後権利委員会と言います）による対日審査が行われた事をご存知の方もいらっしゃると思います。権利条約に書かれている第1条から第31条について、日本の障害福祉の実態がどこまで整合しているか、実践されているかといった事への初審査の結果について9月9日に日本政府に対して総括的な所見（勧告）が述べられました。その中でも第19条「自立した生活及び地域社会への包容」第20条「個人の移動を容易にすること」、第24条「教育」が私の目に留まりました。

第19条については、権利委員会が最も重視した勧告の一つという事ですが、これによると障害児者の脱施設化を図り、地域で他の人と対等に生活するための手配と支援に向けて迅速な措置をとる事。これは以前の施設中心主義から地域生活移行の名のもとに一人暮らしやグループホーム制度で対応している経緯があるものの、実態としては地域移行も滞っておりグループホームも施設化し「家」としての観点が失われつつある現実があります。制度上、特に重度障害の人達の支援や高齢

化対応への報酬費、マンパワー不足が根底にあり、ビジネス化した事業展開が進んでいる中では障害の軽い人のホーム展開はあるものの重度の人が利用できるホーム展開は滞っている実態があると思います。権利条約を批准した日本における施設化傾向のあるグループホームの在り方についてもさらに検討が必要と感じました。また、入所施設自体をどうするかといった抜本的な課題についても議論を呼ぶことになると思います。

第20条の移動についても、現在の移動支援は補助金による地域生活支援事業としての位置づけでしかなく、ヘルパー確保等で苦慮している実態がありとても移動を容易にするという条文からはかけ離れているのが実態です。まずは移動支援を国の障害福祉サービスとして位置づける作業が必要と考えます。

第24条の教育については、特別支援学校の廃止によるインクルーシブ教育の実現という視点で勧告がなされています。

現在の分離教育、特別支援学校を廃止し、インクルーシブ教育に向けて国の行動計画を採択することを求めた内容です。

これらの勧告は、現行の制度を大きく否定し立て直しを求めるものと解釈していますが、現実面との大幅なずれを具体的にどう修復し予算化していけるのか疑問も多く残ります。

ただ、法的拘束力はないものの国としての指針をどうするのか大いに興味を持ってみたいと思います。画期的なこれらの勧告が新たな希望につながればと思うこの頃です。



やっぱり労セの従業員さんてすげえな!!

すずかけ労働センター 主任 大川 裕紀



第2作業所への異動を経て、6年ぶりに労働センターに戻って来た私がそう感じさせられたのは、引継ぎで労働センターを訪れた今年の3月の中旬でした。作業の休憩で事務所に従業員さん達が戻ってきましたが…数分後気付けば事務所にはもう誰もいませんでした。休憩を終え、再度作業に出発されたのですが、出発時間の数分前には皆が事務所を出ており、またその間職員の声掛け等も全くなく、自分たちで時間を確認して行動していました。6年前にも見ていた光景ではあると思いますが、改めて日々の仕事を『当たり前』にこなしている皆さんに衝撃を受けました。ただ、6年離れたからこそその気付きもあるように思います。

『当たり前』、ここに働き甲斐やモチベーションが伴っていない印象を受けています。そこを生み出し、目的意識を持って、働く事のできる環境を整えたいと考えています。その一手として、私の異動とともに第2作業所から内職の作業を持ち込みました。インターネットで販売される商品に専用のバーコードシールを貼る作業になります。対象となる商品は幅広く、ショッピングモールに店舗を掲げている企業の商品や、CMなどでも目にする商品、誰もが1度は食べた事のあるお菓子、

フクロモモンガやヤドカリなど珍しい生き物の餌など様々で「何これ?」「あっこれCMで見た事ある」「これ今度買いに行くわ」等と興味・関心を持って作業を進める方が多くいます。普段目にしていない商品や仕事を仕事として扱う事で、ただ働くというだけでなく社会参加も実感できるのではないかと考えています。

更には今後の展開として、現状、取引先の方が行っている阪急西宮ガーデンズへの商品の買い付け業務を、今後こちらで担う案も出ています。仕事として作業着を着てガーデンズに入店するって格好良くないですか? (笑) 私は従業員さんの自信や誇りにも繋がるのではないかと考えています。この作業は私が友人から依頼された作業であり、まだまだ緻密な連絡が必要な状況であり、私の異動とともに労働センターに作業を持ち込む判断を取りました。第2作業所でもこの仕事を楽しみにされていた方もおり、そこに対しては本当に申し訳なく思っています。ただ、今後の理想としてはこの事業が安定し、より大きな展開に繋がれば、作業所の垣根を越えて、共に働き、またそこで事業所間の交流も生み出せたらなと考えています。

今、労働センターではこうした従業員さんの働きのその先に着目した話し合いがされるようになってきました。実際に具体案も幾つか挙がってきています。こうした案を現実化していき、従業員さんに限らず職員も一緒に目的を持って、毎日イキイキと働く事の出来る、そんな事業所を作っていきたいと強烈に感じています!!

以上、現場より大川裕紀でした👍(^ ^)

※すずかけ労働センターでは利用者さんのことを従業員さんと呼んでいます。

あとリえ すずかけ 新聞

第26便 2022.12
撮影／編集：神田 浩平



2022年9月16日～11月7日まで、丹波篠山市にある白殻五粉さんのギャラリースペースにて、富塚純光さんの個展が開催されました。会場では、富塚さんの新作物語『馬鹿受け青春丸かじり英雄（ヒーロー）物語』全10話や、9月にNHKEテレで放送された『no art, no life』に富塚さんが出演した際に描いていた作品がメインで展示されました。さらに会場の通路には、富塚さんが描いたラフ画を富塚さん自身が展示するという新しい試みも。富塚さんの描く、ユルさ全開の線描きの絵が壁一面に展示され、見応えのあるものとなりました。この展示の様子は動画でWEB公開されていますので、QRコードから是非ご覧ください。

今回の個展は、9月のシルバーウィークに開催されていた『丹波篠山・まちなみアートフェスティバル』にも参加していたこともあって、多くの方にご覧頂けたそうです。ご来場下さった皆さま、ありがとうございました。



武庫川すずかけ作業所・就労班のお疲れ様会

10月21日に武庫川すずかけ作業所・就労班のお疲れ様会が行われました。マンションの共有部分の清掃作業や資源回収の他に、武庫川河川敷や空き地など、合わせて10か所に及んだ除草作業がようやくひと段落したところでした。

この日はお疲れ様会の準備のため、班員全員で尼崎市にある有名店『ケーキハウス・ショウタニ』に出かけ、それぞれ好きなケーキを購入。飲み物も買い揃えて、昼食後に皆さんで食べました。イチゴのショートケーキを選んでいる人が多かったですが、モンブランやショコラケーキを選んでいる人もいました。夏場の外作業で日に焼けた笑顔を浮かべながら、皆さん嬉しそうに食べていました。





助成金の御礼

● 一般財団法人 高友福祉積善会 ●



● 一羊園

一般財団法人高友福祉積善会様より福祉事業助成金を頂き、ノートパソコンとWi-Fiルーターを購入させていただきました。コロナ禍の収束が見えない中、対面での面会が難しい状況が続いています。オンライン面会等で有効活用させて頂く予定です。この度はありがとうございました。



● すずかけ作業所

一般財団法人高友福祉積善会様より福祉事業助成金を頂き、ノートパソコン2台と、車椅子に乗ったまま計測できる体重計を購入させていただきました。ノートパソコンは、職員が効率的に事務作業を行える様に活用させていただきます。車椅子用体重計は、車椅子を利用されている方への日々の体調管理に役立ち、介助する側の負担も軽減されます。この度はありがとうございました。



● 公益財団法人 神戸やまぶき財団 ●

● カノン

公益財団法人神戸やまぶき財団様より頂いた助成金で、今春購入させて頂いた送迎用の車両が11月に納車されました。カノンを利用されているお子さまたちを安全に送り迎えしていきたいと思っております。この度はありがとうございました。





ご報告

会長 太田 博

いつも後援会活動にご協力いただきありがとうございます。特に今年は一羊会においてもコロナ感染が一羊園も含めて蔓延し、職員の皆さんの団結した協力体制で乗り越えることができた事に感謝しています。

さて、大変遅くなりましたが、2022年度書面による一羊会後援会総会のご報告をさせていただきます。

今年はコロナの蔓延に加え実務担当者の入院等で発送時期が大幅に遅れました事申し訳ありませんでした。尚、書面決議書締切日の9月10日を総会開催日といたします。

発送数370通、返信数205通のうち全議案賛成が200通、無回答での返信が5通ありました。全議案賛成が過半数を満たしていましたので総会の議案すべてが可決しましたことをご報告致します。ありがとうございました。

使途不明金問題対応については動きが出てきましたらまた報告いたします。

振り返れば、1978年に一羊園福祉会としてスタートし、その後事業拡大に伴い1987年に一羊会後援会と改め現在に至るこの44年の間の後援会活動は当初、法人団体会員175名、個人会員407名で発足当時は、会費だけで380万円ほどが集まっていたのですが、長い年月の間に強力な支援者の方々も逝去されるなど徐々に縮小の道を辿ってきています。一羊会設立当初の想いや目標は一羊会の基本理念の中に生かされ現場は頑張ってくれていますが、後援会としての機能の再充実迄にはまだ課題が多い状況です。

しかしながら長きにわたり、又新たに応援をいただいている皆さんの存在は大きな励みであります。継続は力なりの精神で取り組みますので応援よろしく願いいたします。

<2021年度事業報告概要>

実務体制について、補充強化はなかなか進んでいない中で事務局が動いている状況です。

販売事業は昨年度同様カレンダー販売のみを実施し

ました。また、募金箱の設置については会社、団体にご協力いただきスタートすることができました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

<2022年度役員体制について>

2022年度は役員1名、(一社)西宮青年会議所の枠を追加させていただき第72代理事長の吉井氏に理事として就任していただけることになりました。

2022年度 後援会役員一覧

(任期：2021年7月15日～2023年 総会開催時迄)

(敬称略)

役職名	氏名	現在の役職等
会長	太田 博	(株)GEOソリューションズ 代表取締役会長
副会長	三浦 昇	(福)一羊会 理事長
副会長	本田 洋子	(一社)西宮市手をつなぐ育成会 会長
理事	北本 宝	中澤総業(株) 会長
(新)理事	吉井 竜二	(一社)西宮青年会議所 第72代理事長
理事	泉 明子	(一社)西宮市手をつなぐ育成会 副会長
監事	長谷 隆行	長谷隆行公認会計士・税理士事務所 代表
監事	梅谷 正子	(一社)西宮市手をつなぐ育成会 副会長

<2022年度事業計画概要>

事務局体制の安定化に向けて引き続き取り組むと共に、会員の維持拡大を計画の柱とし、新しく作成した募金箱の設置、募金の回収方法等実情をみながら具体的な動きを進めてまいります。又、カレンダー販売にも例年通り取り組みます。引き続きご協力の程よろしくお願い致します。

2021年度収支決算

貸借対照表

2022年3月31日現在

単位：円

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
普通預金 三井住友銀行	191,290	未払金	一羊会へ寄付
普通預金 ゆうちょ銀行	444,021		
ゆうちょ銀行 振替口座	1,035,103		
現金	43,226	当期繰越金	216,640
資産合計	1,716,640	負債・純財産合計	1,716,640

収支計算書

自2021年4月1日 至2022年3月31日

収入の部 単位：円

科目	予算	決算	増減	内訳
会費寄付金収入	2,000,000	1,369,562	△630,438	
会費	1,000,000	791,000	△209,000	
寄付金	1,000,000	578,562	△421,438	
事業収入	700,000	444,097	△255,903	
募金事業	300,000	26,467	△273,533	募金箱
販売事業	400,000	417,630	17,630	カレンダー販売
雑収入	10	3	△7	受取利息他
前年度繰越金	365,702	365,702	0	
収入合計	3,065,712	2,179,364	△886,348	

支出の部 単位：円

科目	予算	決算	増減	内訳
事務費	190,000	132,648	△57,352	
通信費	40,000	87,179	47,179	郵送料、切手代
振替手数料	30,000	26,966	△3,034	会費等振替手数料
印刷費	100,000	14,300	△85,700	振替用紙、受領証印刷費
会議費	10,000	700	△9,300	会議室使用料
消耗品費	5,000	0	△5,000	
雑費	5,000	3,503	△1,497	振込手数料・残高証明他
事業活動経費	350,000	330,076	△19,924	カレンダー仕入、リーフレット・シール作成費等
寄付金支出	2,000,000	1,500,000	△500,000	一羊会へ寄付
委託料	0	0	0	
小計	2,540,000	1,962,724	△577,276	
当期収支差額	525,712	216,640	△309,072	
支出合計	3,065,712	2,179,364	△886,348	

2022年度 予算

自2022年4月1日 至2023年3月31日

収入の部 単位：円

科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	内訳
会費寄付金収入	1,369,562	1,600,000	230,438	
会費	791,000	800,000	9,000	
寄付金	578,562	800,000	221,438	
事業収入	444,097	650,000	205,903	
募金事業	26,467	200,000	173,533	募金箱収入
販売事業	417,630	450,000	32,370	カレンダー販売収入
雑収入	3	10	7	預金利息等
前年度繰越金	365,702	216,640	△149,062	
収入合計	2,179,364	2,466,650	287,286	

支出の部 単位：円

科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	内訳
事務費支出	132,648	112,000	△20,648	
通信費	87,179	60,000	△27,179	郵送料、切手代、ハガキ代
振替手数料	26,966	30,000	3,034	会費等振替手数料
印刷費	14,300	15,000	700	振替用紙、年賀状印刷費
会議費	700	1,000	300	会議室使用料
消耗品費	0	1,000	1,000	お茶等
雑費	3,503	5,000	1,497	振込手数料、残高証明等
事業活動経費	330,076	300,000	△30,076	カレンダー仕入代金、募金活動諸経費等
寄付金支出	1,500,000	1,500,000	0	一羊会へ寄付
小計	1,962,724	1,912,000	△50,724	
当期収支差額	216,640	554,650	338,010	
支出合計	2,179,364	2,466,650	287,286	

*事務局よりお詫びと補足説明

- 2021年度、収支計算書支出の部において、リーフレット発送、総会書面決議による通信費増、募金箱設置に向けたリーフレット印刷は、事業活動経費での処理により印刷費減となっており、決算額が予算額に対し大幅に差異が生じました。
- たびたびの入力ミス申し訳ありません。総会資料の2022年度予算について、予算額欄については間違いありませんが、前年度決算額欄の収入の部、前年度繰越金の額に入力ミスがあり修正したものを上記に記載いたしました。

以後気を付けますのでご容赦の程よろしくお願い致します。

法人・事業所御寄付の報告(敬称略・順不同)

2022年7月1日~2022年10月31日

*法人

一羊会後援会

1件

*一羊園

匿名	天野朗代	関本弘子	森野和雄	芝 桂子	岡田宏之	田中美英子	中島厚子
上林正芳	簾編宗秋	岩原裕子	藤木孝夫	山口 苑	北村典子	矢萩祐子	高野重子
脇田捷也	山本悦子	竹田 勝	宮崎龍雄				

20件

*すずかけ作業所

竹村昌子

1件

*武庫川すずかけ作業所

平野弘子(3件) 匿名

4件

*ジョイント

匿名

1件



2022年度一羊会後援会会費(敬称略・順不同)

(2022年8月1日~2022年10月31日までのご入金分を掲載)

*法人・団体の部

(一社)西宮市薬剤師会 大関(株) (株)瀧川薬局 (株)ヤマサ環境エンジニアリング

4件

*個人の部

大前繁雄	緒方満智	奥田幸子	金井治夫	川越アキミ	堺 孰	塩谷健介
芝 桂子	関本弘子	千翔有峰	高木博敏	高林恵子	瀧川秀樹	中島忠男
浜田良子	三浦 昇	宮崎隆行	八木米太郎・名見子(2.5口)	矢萩祐子		

すずかけ労働センター保護者会(16口)

20件

2022年度一羊会後援会御寄付(敬称略・順不同)

(2022年8月1日~2022年10月31日のご入金分を掲載)

*個人の部

青木純子	飯田喜美子	井上尚子	浦山亜紀世	大目修平	金井治夫	神尾ツタエ
唐沢文子	芝 桂子	柴田美子	下浦洋子	善塔勝一郎	高木博敏	中島厚子
中村栄子	西 眞弓	万竝建二	三上 展	矢萩祐子	山口 苑	横山 潤・正代

渡邊絹子

22件



口座名義 一羊会後援会

【銀行】三井住友銀行 西宮支店 普通 3007061 【郵便振替口座】01190-8-66322

※受領証については、払込取扱票の振替払込請求書兼受領書をもって後援会の受領証とさせていただきます。別途受領証が必要な場合はお知らせください。